

環境配慮型製品と価格の関係

イー・ウーマン調査「環境配慮型製品の購入意識」
<http://www.ewoman.co.jp/>

最新の技術開発により、環境負荷の少ない家電製品が多くなった。しかし、家電量販店を訪れると、環境にやさしい製品と価格とが対立しているようにも思う。そこで今回はワーキングウーマンの考える「環境」についてのレポートをお届けしたい。

●環境は良くなったのか

環境が悪くなったと答えたのは「まったくそうだと思う」46%、「ときどきそう思う」43%を合わせて89%と大多数を占めた(グラフ1)。一方、環境が良くなったと実感することがあるかの質問に「ある」と答えたのは43%で、実感することが「ない」34%を9%上回った(グラフ2)。環境が良くなったと理由として省電力製品、ハイブリッド車などによる環境配慮型製品が環境負荷を減らしているという意見が挙げられた。

●環境配慮型製品を所有

それでは、いわゆる「環境にやさしい」環境配慮型製品を実際に購入したことがあるのかを聞いてみた。脱フロン冷蔵庫、リサイクル率100%、ハイブリッド車など、最近ではさまざまな製品に広がっている。環境配慮型商品を「購入したことがある」のは50.2%であった(グラフ3)。一方、自分が購入した製品が環境配慮型かどうか「わからない」のは20%近くにのぼり、環境配慮型製品なのかどうなのかということが周知されていない現状も浮き彫りになった。

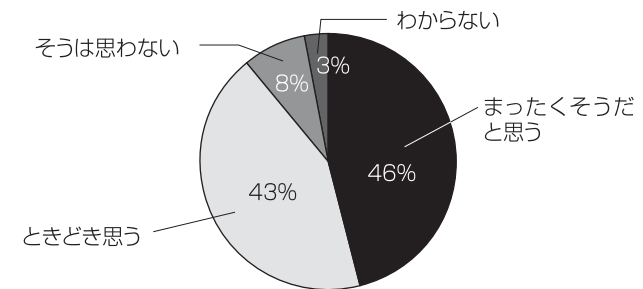
●環境配慮技術と価格上昇への理解

環境配慮型製品は最新技術の導入により製造コストが上がることも予想される。環境配慮型製品であるために、価格が高くなることに対して「わからない」が26.8%を示した。環境配慮型製品について環境技術と価格との関係を理解できていない様子が見える。しかし一方で、価格が高くなることについて「許せる」が53.6%と過半数を超え、価格が上がることを「許せない」19.6%の2.7倍を示した(グラフ4)。環境配慮技術を搭載することで、製品価格が上がることは一定の理解があるようだ。

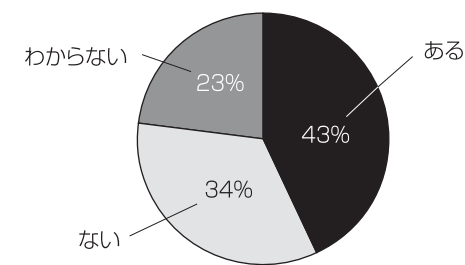
●実際の製品購入は環境配慮型

実際の製品購入に際して、環境と価格のどちらが重要な決定要素になるのか。「環境配慮のほうが重要だと思う」が27.0%、「両方とも同じように重要だと思う」が50.0%であった(グラフ5)。その結果、製品購入に際し「環境配慮が価格と同等かそれ以上に重要である」と感じている人は77.9%だった。ごみの分別などだけではなく環境に意識的な生き方というのを製品の購買という形で表すと、消費者は厳しい経済環境のなかでも自分の財布の中身だけでなく環境や社会へ目を向けている様子が見える。

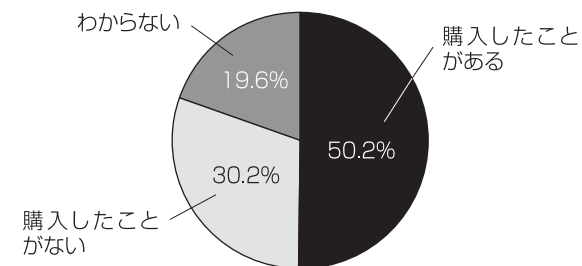
グラフ1 「10年前」や「子どものころ」に比べて環境が悪くなった



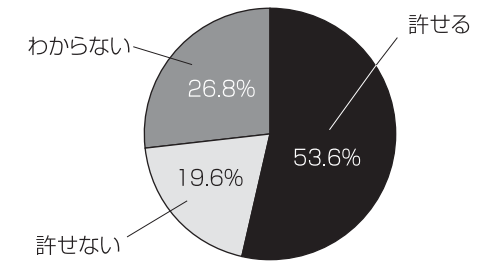
グラフ2 「10年前」や「子どものころ」に比べて環境が良くなったと実感することがある?



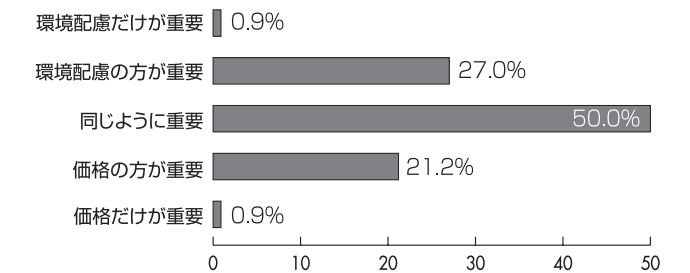
グラフ3 環境配慮型製品の購入状況



グラフ4 環境配慮型製品であるために価格が高くなることについて



グラフ5 環境配慮と価格の重要度



<調査概要>
 調査実施:2004年5月20日~5月25日
 調査方法:インターネットによる自記入式アンケート
 対象:イー・ウーマンリーダーズ
 有効回答者数:552名

LEADERS DATA

